

ビワ生育情報

第 4 報
千葉県農林水産部
令和 6 年 1 月号

本年は出蕾期が平年より早く、11～12月の平均気温が平年より高く推移したため、開花始期、盛期、終期が3品種とも平年より早くなりました。

花房及び樹の発育

ビワの開花期は表1に示した。暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が11月7日で、平年より1日、前年より3日早かった。「大房」が11月19日で、平年より6日、前年より3日早かった。「田中」が11月10日で、平年より2日早く、前年と同日だった。開花盛期は、「楠」が11月18日で、平年より7日早く、前年より3日早かった。「大房」が12月5日で、平年より12日早く、前年より3日遅かった。「田中」が11月22日で、平年より9日早く、前年と同日だった。開花終期は、「楠」が12月7日で、平年より16日早く、前年より2日遅かった。「大房」が12月25日で、平年より33日早く、前年より2日遅かった。「田中」が12月14日で、平年より23日早く、前年より4日遅かった。

花房の出蕾期は3品種ともに平年より早く、11～12月の平均気温が平年より高い状態で推移したため、開花始期、盛期及び終期は平年より早かった。全体的に樹及び花房の生育は順調である。

表1 ビワの開花期(暖地園芸研究所)

品 種	開花始期 (月. 日)			開花盛期 (月. 日)			開花終期 (月. 日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11. 7	11. 8	11.10	11.18	11.25	11.21	12. 7	12.23	12. 5
大房	11.19	11.25	11.22	12. 5	12.17	12. 2	12.25	1.27	12.23
田中	11.10	11.12	11.10	11.22	12. 1	11.22	12.14	1. 6	12.10

平年：1993年～2022年の30年間の平均

令和5年12月の気象

令和5年12月の半旬別の気象を表2に示した。平均気温は第2～4、第6半旬は平年より高く、第1、第5半旬は平年よりも低かった。月平均気温は10.4℃で、平年より1.4℃、前年より1.9℃高かった。

氷点下日数は2日であった。最低極温は第2～4、第6半旬は平年より高く、第1、第5半旬は平年よりも低かった。

降水量は第3半旬は平年より多く、その他の半旬は平年より少なかった。月合計は46mmで平年及び前年の51%であった。

日照時間は第1、第2、第5半旬は平年より多く、第6半旬は平年並み、第3、第4半旬は平年より少なかった。月合計は198時間で平年の120%、前年の110%であった。

表2 令和5年12月の気象(アメダス館山市)

半旬	平均気温 (°C)			氷点下日数 (日)			最低極温 (°C)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	8.9	10.8	11.4	0.0	0.1	0.0	2.1	3.6	6.4
2	12.3	10.0	9.0	0.0	0.2	0.0	4.4	2.2	2.8
3	13.2	9.2	9.7	0.0	0.5	0.0	6.9	1.9	1.8
4	11.7	8.6	6.8	0.0	0.8	1.0	1.6	0.7	-1.0
5	7.2	8.0	7.1	2.0	0.8	1.0	-1.7	0.7	-1.4
6	9.1	7.5	7.0	0.0	1.7	3.0	0.1	-0.7	-0.9
平均/計/最小値	10.4	9.0	8.5	2.0	4.1	5.0	-1.7	-0.7	-1.4

半旬	降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	0.5	20	22	37	25	10
2	0.5	17	18	42	25	31
3	33.5	13	4	20	26	29
4	0.5	12	18	24	27	33
5	0	13	27	38	28	35
6	10.5	15	0	37	35	40
計	46	89	89	198	165	179

平年：1991～2020年の30年間の平均

最低極温：各半旬あるいは12月中に記録した最低気温

なお、表の数値は、表示単位未滿を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

2月の作業

1月中旬～2月上旬は1年間で最も寒い時期である。本年の開花状況は平年よりも進んでいるため、寒害を受けるリスクは高いと考えられる。したがって、急な寒波には十分注意し、必要に応じて、被覆資材で樹体を覆う、園内をヒーターにより加温する等の対策を行う。

苗木の植え付け

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動が緩慢な2月中下旬が適期である。苗木は根鉢を崩さないように土を付けた状態で移植すると植え傷みが少ない。移植に時間を要する場合は、掘り上げ前に苗木の全ての葉を半切りしておく。

植穴は直径1～1.5m、深さ40～50cmの穴を掘り、穴の底に完熟堆肥を入れる。土の埋め戻しは土が落ち着くときの沈下を見込んで地表面から30～50cm高く盛り土する。定植後は苗に支柱を添え、十分にかん水した後、盛り土が乾かないように敷きわらをしておく。

がんしゅ病の予防散布

がんしゅ病は一度発生すると防除が難しいため、感染防止を目的として、春枝の新葉展開期の3月上中旬に薬剤散布を行う。薬剤散布は幹、枝及び葉に薬液が十分付着するように行う。薬剤散布に当たっては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に従う。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室
電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>